

# 2023年3月期（第13期） 第3四半期決算説明資料

2023.1.25

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村 拓伸



## 目次

---

1. 2023年3月期（第13期） 第3四半期決算概要
2. 2023年3月期（第13期） 通期業績予想及び配当予想の修正
3. トピックス

## 1. 2023年3月期（第13期） 第3四半期決算概要

- 3 -

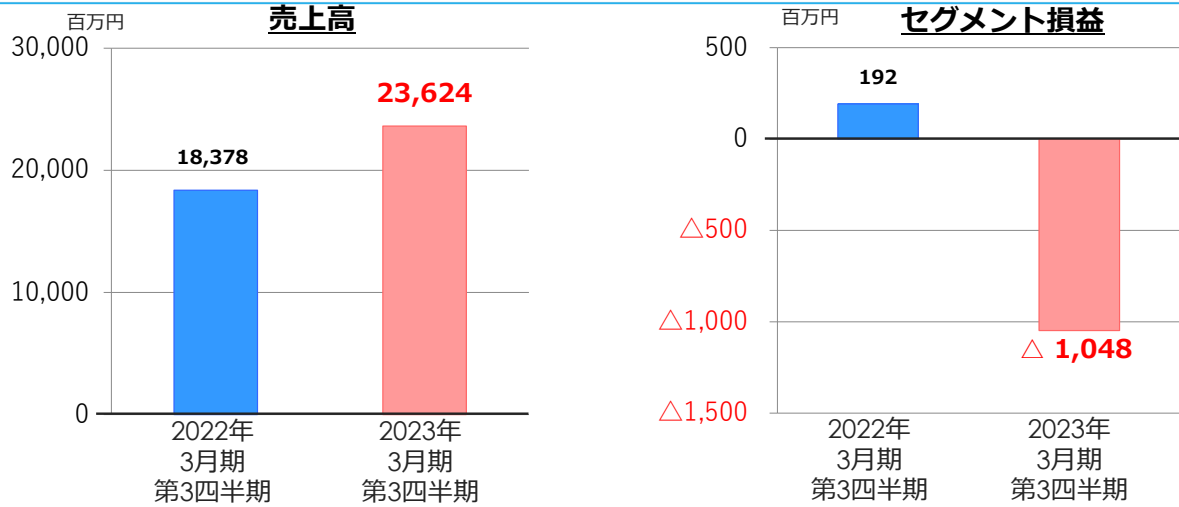
## (1) 2023年3月期第3四半期 損益サマリー

単位：百万円

	2022年 3月期 第3四半期	2023年 3月期 第3四半期	増減	増減率	前年度実績比 <b>増収減益</b>
売上高	23,475	29,710	+6,235	26.6%	<b>増収要因：</b> ・主に買収企業の売上が寄与 ・「映像&IT」「ロボティクス」とともに増収
映像&IT	18,378	23,624	+5,246	28.5%	
ロボティクス	5,097	6,086	+989	19.4%	
営業利益	347	△1,202	△1,550	-	<b>減益要因：</b> ・売上原価の増加 ・販管費の増加
経常利益	462	△1,084	△1,546	-	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	12	△1,784	△1,797	-	<b>繰延税金資産を取り崩し</b>

- 4 -

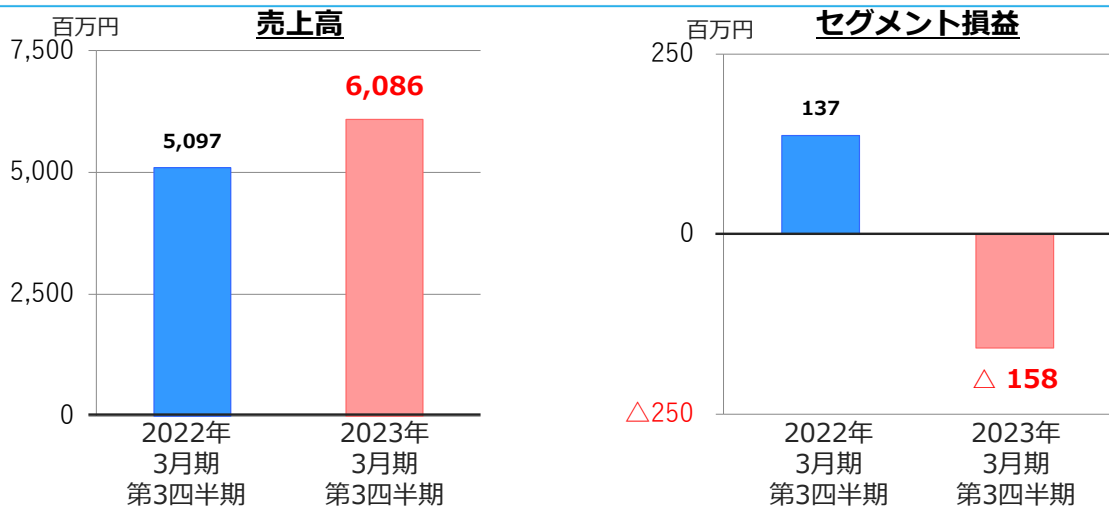
## (2) 映像 & IT 事業セグメントの損益



- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 競争激化の影響の中、前期並みの水準維持  
②欧米 急激な物価上昇やサプライチェーンの混乱などにより計画下回る
- ・車載事業：堅調な需要により受注が積み上がるも半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・競争激化に伴う利幅縮小、部品価格高騰や円安によるエネルギー・輸入製品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価上昇、事業拡大・顧客満足度向上を目指した営業組織強化による活動費用や管理費用増によりセグメント損失拡大

- 5 -

## (3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・FA事業関連機器：①国内 堅調な需要に対して半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続  
②中国 COVID-19による市場環境悪化の影響
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・部品価格高騰や円安によるエネルギー・輸入製品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価上昇しセグメント損失拡大

- 6 -

## (4) 2023年3月期第3四半期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2022年 3月期	2023年 3月期 第3四半期	増減
流動資産	20,934	25,506	+4,571
固定資産	10,846	10,003	△ 842
<b>資産合計</b>	<b>31,781</b>	<b>35,510</b>	<b>+3,728</b>
流動負債	16,546	20,905	+4,358
固定負債	5,499	5,733	+234
<b>負債合計</b>	<b>22,045</b>	<b>26,639</b>	<b>+4,593</b>
株主資本	9,000	6,937	△ 2,063
その他の包括利益合計額	734	1,933	+1,198
<b>純資産合計</b>	<b>9,735</b>	<b>8,870</b>	<b>△ 864</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,781</b>	<b>35,510</b>	<b>+3,728</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>30.6%</b>	<b>25.0%</b>	<b>△5.7pt</b>

**流動資産：**

・ 部品調達難により出荷ができず在庫増  
+4,172百万円

**流動負債：**

・ 部品調達難による在庫増・収益化の遅れ  
支払手形及び買掛金 +1,891百万円  
短期借入金 +2,150百万円

**純資産：**

・ 収益化の遅れと為替の影響  
利益剰余金 △2,063百万円  
為替換算調整勘定 +1,190百万円

- 7 -

## 2. 2023年3月期（第13期）

## 通期業績予想及び配当予想の修正

- 8 -

## (1) 2023年3月期 業績予想 (期首予想との差異)

単位：百万円

	2023年 3月期 期首予想	2023年 3月期 修正予想	増減	増減率
売上高	40,000	45,000	5,000	12.5%
営業利益	1,500	△ 500	△ 2,000	—
経常利益	1,300	△ 400	△ 1,700	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	900	△ 1,300	△ 2,200	—

- 9 -

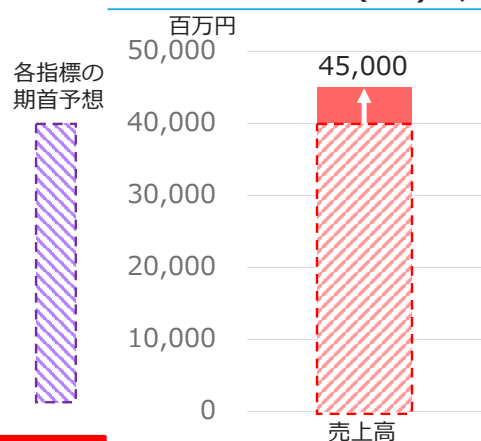
## (2) 2023年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

	2022年 3月期 実績	2023年 3月期 修正予想	増減	増減率
売上高	34,521	45,000	10,478	30.4%
営業利益	749	△ 500	△ 1,249	—
経常利益	955	△ 400	△ 1,355	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	431	△ 1,300	△ 1,731	—

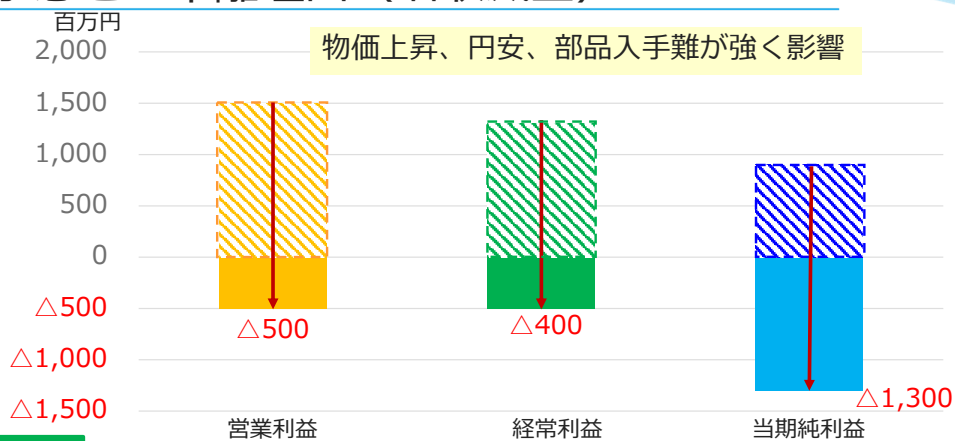
- 10 -

### (3) 期首予想との乖離理由 (増収減益)



#### 売上高

- 積極的なM&A戦略が功奏
- 前期グループ入りした企業を中心に子会社が期首の想定以上に貢献
  - ✓ ESCO、Pacific Techグループ
  - ✓ アポロ精工株式会社 など



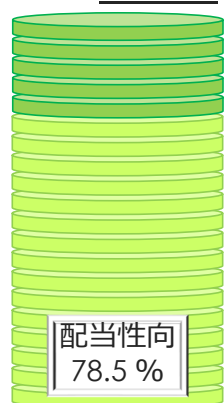
#### 利益面

- グループ入りした子会社が貢献
- 期首に想定した以上の利益に対する強い下押し圧力が影響
  - ✓ 競争激化で利幅が縮小
  - ✓ 物価上昇に伴う部品価格の高騰、円安に伴うエネルギー及び輸入製品価格の高騰、部品調達難に伴う生産効率の低下などにより売上原価が上昇
- 活動費用や管理費用の増加
  - ✓ 更なる事業の拡大・顧客満足度の向上を目指して営業組織を強化
- 繰延税金資産を取り崩し等

### (4) 2023年3月期 配当予想 (修正)

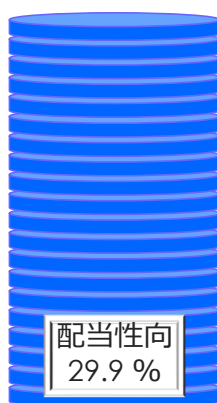
業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

※記念配当  
15円 + 5円

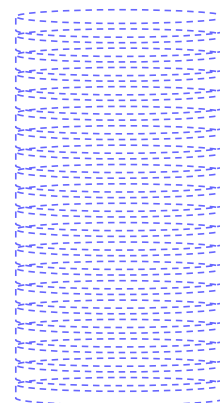


2022年3月期  
(実績)

20円



2023年3月期  
(期首予想)



2023年3月期  
(修正予想)

### 3. トピックス

- 13 -

#### (1) 「映像&IT」「ロボティクス」で切り開く未来

「映像&IT」と「ロボティクス」技術を基盤に、  
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。



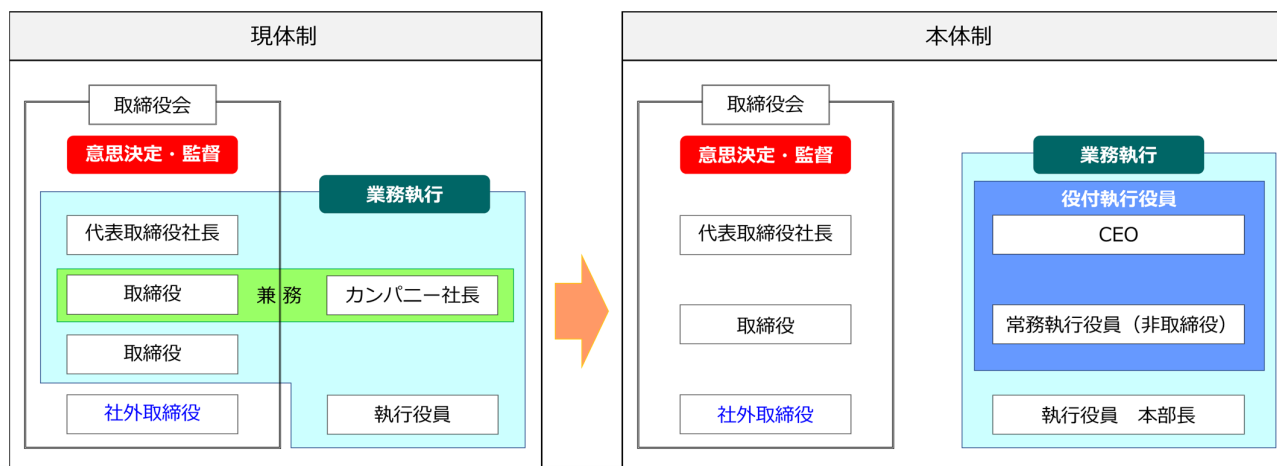
- 14 -

## 著しい経営環境の変化に対応し 成長と発展を実現するための施策実行

- 15 -

### (2) 2023年4月1日付で組織体制を変更

- カンパニー制を廃止し、事業内容毎に組織を担う本部制導入
- 本部間やグループ企業を横断した機動的な経営実現に向け、執行役員の上位業務執行者として役付執行役員（常務執行役員）制度を導入
  - ✓ 著しい経営環境の変化に対応し、当社グループが持続的に発展するための制変更
  - ✓ 各本部の責任者は執行役員が担当し、事業戦略、業務執行、業績管理を実施
  - ✓ 代表取締役社長がCEOを兼務し、最高責任者として全体の統括を担い、迅速かつ横断的に業務を執行



- 16 -



### (3) 子会社間の合併①

#### 映像&IT事業

- (1) 顧客サービスや当社グループ全体の効率的・効果的な業務の実現
- (2) デジタル技術を活用したソリューションサービス・クラウド・マーケティングオートメーションの取組推進
- (3) 3つの“A”を中心とした事業を展開
  - ① Academic (教育市場へあらたな製品・サービスの提供)
  - ② Automation (業務の自動化にむけたEPR・RPAソリューションでDX推進)
  - ③ Account (現代社会では多数のアカウントを保有し、多くのデジタルデータが日々蓄積される中、当該データを安心して利用できる環境の提供)



社名	アドワ株式会社
代表取締役社長	竹本 雄一 (現アジア(株) 代表取締役社長)
事業内容	ソフトウェアの受託開発、販売、ソフトウェア技術者の派遣 各種システム構築・導入のコンサルティング、システム・ネットワーク設計・構築・運用・保守等 カメラ監視システム、映像管理システムの開発、輸入、販売 その他関連機器全般の販売、施工、メンテナンス

### (3) 子会社間の合併②

#### ロボティクス事業

- (1) FA市場における工場のデジタル化支援能力を一層強化するために連結子会社を再編成
- (2) より付加価値の高い事業展開を図る
  - ① 国内/海外の販促基盤の強化
  - ② 技術の融合を行い効率的で価値の高い商品開発
  - ③ ものづくり体制の最適化
  - ④ 管理業務の効率化
  - ⑤ 人材の有効活用



社名	アポロ精工株式会社
代表取締役社長	牧 次郎
事業内容	自動はんだ装置及び関連機器の製造・販売、レーザー関連製品の製造・販売 各種製造装置及び検査装置の設計、製造及び販売 画像処理関連のハードウェア・ソフトウェア及びアルゴリズムの開発 工場DX化システムの開発・製造・販売

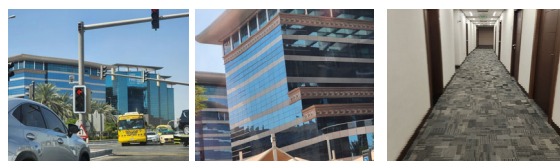
## (4) ASEAN・アジア地域の事業展開強化① (再掲)

**ESCO Pte Ltd Branch (子会社間での事業移管 : エルモドバイオフィス)**

- ELMO Europe SASから ESCO Pte. Ltd.への中東地域業務を移管
- ESCO Pte. Ltd.はアジア広域に拠点を構えて独自のネットワーク構築
- 拠点管理の一元化やシナジー効果・効率化により事業を強化
- **2022年9月22日登記**



事業内容 :

 AV 機器および**教育用 ICT 機器**、システムの販売・設置工事


- 19 -

## (4) ASEAN・アジア地域の事業展開強化②

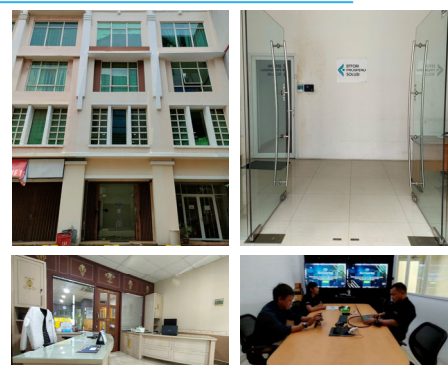
**① PT PACIFIC TECH INDONESIA 設立 (孫会社) (再掲)**

- インドネシアに設立 (ASEANサイバーセキュリティ市場第3位※)
- PACIFIC TECH PTE. LTD. と ESCO Pte. Ltd. が共同出資
- ASEAN 地域内において市場拡大を目指す
- 2022年7月28日設立、**12月業務開始**

事業内容 :

 サイバーセキュリティ機器・ソフトウェアの販売、  
 インストール、メンテナンス、サポート事業

※出典 Network Security Market : Technology Segment Analysis, ASEAN, Q3 2021


**② PACIFIC TECH PTE. LTD. (PTSG) が、PACTECH MSP PTE. LTD. (PTMSP) の事業を統合**

- 生産性と業務効率の向上、統合によるPTMSP維持コストの削減
- PTMSPのサービス事業を、セキュリティ機器・ソフトウェアの販売事業を担うPTSGに譲渡・集約
- 事業譲渡日 : 2023年1月1日

- 20 -

## (5) 製品・サービス情報

## デジタルカメラで撮影された画像データの変換・出力ソフト



- デジカメRAW形式→高品質なRAW（DNG）形式の画像データに変換
- 変換により様々な画像編集ソフトで画像の調整が可能



## 屋外用LTE対応クラウドカメラ レンタルサービス

- 建設・土木業などの仮設現場のお声で誕生
  - ✓ 防犯対策以外に他拠点との映像共有したい
  - ✓ 期間限定で利用したい
- 屋外用LTEカメラ、LTE回線、クラウドのパッケージ
- コンセントに電源ケーブルを挿しこむだけ
- 当社のクラウドサービスに接続



## (5) 2023年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① COVID-19の蔓延による受注減や市況の悪化（中国市場）
- ② サプライチェーンにおけるコスト上昇（エネルギー・原材料等）
- ③ 世界的な半導体需要のひっ迫
- ④ 為替相場（円安による輸入製品等のコスト上昇）
- ⑤ 競争激化等の影響によるコスト上昇分の価格適正化の進展遅延
- ⑥ ウクライナ情勢による欧州サプライチェーンの混乱

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## I R 担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： [info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風  
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波  
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶  
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い  
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス  
授かった希望  
未来へ羽ばたく風をつかめ

**TECHNO HORIZON**  
テクノホライゾン株式会社

**TIETECH**

**ELMO**

**Finefit Design**

**TECHNO HORIZON GROUP**

**ADS**

Knowledge  
Imaging  
Technology **KIT**

**ELMO K-GRANDE**  
CORPORATION

**AIND**  
— All Wind —

**ITL**

**BlueVision**

**ESCO**  
EXCELLENCE DELIVERED

**fine** 株式会社 **ファイン システム**

**Pacific Tech**

**市川ソフトラボラトリー**

**APOLLO**  
APOLLO SEIKO

**ASIA**